

公益社団法人日本交通政策研究会

物流 2024 年問題シンポジウム

トラック輸送イノベーションが解決する物流危機

令和6年4月

この度、公益社団法人日本交通政策研究会では、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。「物流 2024 年問題」にご関心をお持ちの皆様のご出席を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 開催趣旨

2024 年 4 月から導入される時間外労働の上限規制、自動車運転者の労働時間等の改善のための労働時間規制によって輸送能力が不足し、「モノが運べなくなる」可能性が懸念される「物流の 2024 年問題」があります。この問題の解決に向けてさまざまな取り組みが検討されると共に、物流事業者を支える道路施策も議論されています。

本シンポジウムでは、今後、有力な手段となるダブル連結トラックや、関連する高速道路 SA・PA、車両の大型化を支える通行制度などの道路施策について調査研究をとりまとめ、物流危機に対する方策や物流危機に対する方策や技術適用の可能性などを紹介します。「物流の 2024 年問題」にご関心をお持ちの皆様にご参加いただけますよう、お願い申し上げます。

2. 開催日時 令和6年7月23日（火） 13:30~16:30

3. 開催場所 シェーンバッハ・サボール 3F 穂高
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館
URL: <https://www.sabo.or.jp/>

4. 主催 公益社団法人日本交通政策研究会

5. 参加費 無料
テキスト 日本交通政策研究会研究双書37
「トラック輸送イノベーションが解決する物流危機」成山堂書店

6. 参加申込 WEB ないし電子メールにより事前にお申込みください。
※オンライン参加をご希望の方には申込時に記載のあったメールアドレス宛に視聴用 URL を送信します。
※定員（会場：70 名、Zoom：100 名）に達した場合、お断りすることがありますので、予めご了承ください。

7. プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶
山内 弘隆（公益社団法人日本交通政策研究会 代表理事）
- 13:35～13:50 これまでの経緯とシンポジウムのねらい
兵藤 哲朗（東京海洋大学）
- 13:50～14:10 長大トラックの意義と道路インフラの問題点
根本 敏則（敬愛大学）
- 14:10～14:30 車両の大型化を支える通行制度
味水 佑毅（流通経済大学）
- 14:30～14:50 ダブル連結トラックの導入と運用
渡部 大輔（東京海洋大学）
- 14:50～15:00 前半発表への質疑応答
- 15:00～15:10 休憩
- 15:10～15:30 ダブル連結トラック利用区間の延伸とその効果
西峯 洋平（株式会社 公共計画研究所）
- 15:30～15:50 SA・PA の現状・課題と利便性向上に向けた取組み
山本 隆（中日本高速道路株式会社）
- 15:50～16:10 コンパクト駐車場の導入事例とわが国への適用可能性
平田 輝満（茨城大学）
- 16:10～16:25 発表全体に対する質疑応答
- 16:25～16:30 閉会挨拶 根本 敏則（敬愛大学）

※プログラムは予告なく変更される場合があります

お問合せ先：公益社団法人 日本交通政策研究会
E-mail： office@nikkoken.or.jp
Website： <https://www.nikkoken.or.jp/>